



9月定例会

雇用対策に重点

予算4件、条例6件 その他13件、報告8件の計31件を審議しました。急激な円高の進展による厳しい経営状況や、長引く雇用環境の低迷に対応するため、および東日本大震災に対応するための補正予算です。

補正予算

(単位:百万円)

雇用経済対策	3,202
東日本大震災対応	3,206
その他	398
小計	6,806



静岡県庁、議会議棟

くらし環境委員会

副委員長の私は質問は最後にするのが慣例になっています。委員会では毎回本当にたくさんの質問が出ます。私の用意していた質問も大半は他の人がしてくれることとなります。

◆私の質問

1. 自転車シミュレータ出前講座について
2. 建築許可台帳のデータベース化に関して
3. 県営住宅滞納家賃の徴収に関して
4. 鳥獣保護区について(いのしし対策)
5. 家・庭一体の住まいづくりについて
6. 風力発電について
7. 愛鷹山麓における産廃物の不法投棄事件
8. 新幹線騒音について



本会議場

天竜浜名湖鉄道の視察

東堂陽一ブログ『志を持って』(23年12月6日、12月7日)より

沿線住民にとって生活の足として必要な天浜線。しかし利用者は年々減少傾向にあり、運賃収入だけでは運営経費を賄えないのが現状です。静岡県と沿線の自治体が経営の補助金を支出しています。その運営実態や、天浜線の魅力、可能性を知るために県議会の有志15人で視察をいたしました。貸し切り料は割り勘、イベン



(11月29日 掛川駅)

ト列車の一つ文化財列車を利用した視察でした。掛川駅発11時8分、ダイヤに沿って列車は走り出しました。

最初の停車駅は桜木駅、その次の降車駅は原谷駅でした。どちらも国登録有形文化財、どちらも映画やテレビのロケに使われている、どちらも「ぽっぽや桜木会」、「ポップ屋原谷会」というボランティアの皆さんが、駅に見どころを作ったり、きれいにしたり、楽しめる場所になっています。天浜線にはこの他にも、全36施設が国の有形文化財として登録されています。

寸座で地元観光協会との意見



(11月29日 原谷駅)

交換会が設定されていたので、一行はここで下車しましたが、次の予定のあった私はそのままイベント列車に乗せてもらい、終点の新所原駅に向かいました。運転士さんと、ガイド役の加藤さんと乗客は私一人という貸し切り状態の贅沢な状況となりました。途中下車を含めて4時間弱、全行程67kmの小旅行でした。